

English Garden 第26話

"All the world's a stage, And all the men and women merely players;"
William Shakespeare

「世界はすべて一つの舞台、すべての人間は男も女も役者にすぎない」 ウィリアム・シェイクスピア

シェイクスピアの喜劇 "As You Like It" 「お気に召すまま」(木下順二訳による)の第II幕第7場からです。弟に領地を奪われてアーデンの森に移り住んでいる公爵の前に、飢えた老召使を抱えているという騎士のオーランドーが現れて食べ物乞います。公爵は遠慮なく連れてくるようにと答え、家来に、「どうだ、我われだけが不幸なのではない。この限りなく広大な世界という劇場では、我われがいま演じている場面より、はるかに悲惨な芝居が演じられているのだ」と語ります。表題の言葉は、それを受けて家来の貴族のジェイクスが朗々と語る長せりふの冒頭です。その先をもう少し引用しましょう。

"They have their exits and their entrances;
And one man in his time plays many parts,
His acts being seven ages."
それぞれに登場し、それぞれに退場する。
そして一人が一生に多くの役を演じるのだが、
その役は7つの年代に分かれるのだ。



その7つの時代とは、次の通りです。

- 第1期 乳母に抱かれて泣いたりもどしたりの赤ん坊時代
- 第2期 かたつむりのようにのろのろ、いやいや学校に通う小学生時代
- 第3期 暖炉のような熱いため息をつきながら、嘆きをこめた恋歌を捧げる恋人時代
- 第4期 怪しげな誓いを立て、ひげを蓄え、喧嘩早く、名誉欲にとりつかれた軍人時代
- 第5期 太鼓腹にきつい眼つきで尤もらしい格言や月並みの証拠書類を並べる裁判官時代
- 第6期 鼻にはメガネ、腰には巾着、大事にとっておいた若いころの長靴下はしなびた脛にはぶかぶかで、男らしかった大声も子どもの声に逆戻りしてヒューヒュー笛のような、痩せこけたもうろく爺さん時代
- 第7期 波乱に富んだ一代記のしめくくりは、第2の赤ん坊、歯もなく眼もなく味もなく、何も無い全くの忘却の時代。

なお、シェイクスピアの作品が上演されたことで知られる「グローブ座」が、およそ350年ぶりに、4年の歳月をかけてロンドンに再建され、つい先日の6月12日、エリザベス女王とフィリップ殿下を迎えて開館記念公演が行われました。